

◎成美地区公民館平成29年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	409 団体 のべ 7,616 名 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 96 回のべ 5,350 名参加 (うち道くさクラブ 32 回・1,142 名) (詳細は別紙「平成29年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	・関係者(職員・役員)の 目的・目標理解と意欲的 取り組み	公民館の目的について運営協議委員会で再確認を行い、来館者にも分かるように公民館の目的をロビーに掲示した。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	・住民学習ニーズの把握及 び事業への反映 ・地域課題、生活課題、現 代的課題の事業への反 映(講座リスト活用) ・発達課題、家庭教育、奉 仕・体験活動に関する学 習機会設定 ・事業への住民参画推進	区長会で災害に備えて地域防災について研修したいという意見があり、講座リストを活用し、日本赤十字社協力を得て公民館と区長会の共催で講演会を行った。 男女共同参画の講演会では、ふなのえこども園と地域住民を対象に、絵本の読み聞かせからジェンダーについてなど学ぶ事ができた。 船上キッズでは夏休み見学ツアーで施設の見学や体験などを行った。	A
より自主的 なまなびの ススメと広 がり	・自主運営学習グループづ くり推進 ・住民の自主学習支援 ・学習リーダー、講師育成 ・学習成果発表機会設定 (作品展など) ・関係団体と連携しての事 業実施	今年度俳句教室を自主運営化とした。 町の文化祭・解放文化祭・合同作品展・公民館祭など積極的に作品を出品した。 女性教室で作った作品を公民館祭に出品してもらい展示した。 公民館祭のかくし芸大会では地域で活動しているグループ等に出場してもらい、発表の場を設けた。	B
まなび情報 提供と職員 研修	・講座開催、学習グルー プの情報提供 ・図書など資料の提供 ・職員研修(町教委主催な ど)への参加と自己研鑽	ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努め、各種催しのパンフレットなどをロビーに掲示し来館者にPRした。 寄贈の図書をロビーに配置し、自由に閲覧できるようにした。 県・町・郡公連主催の研修に参加し、研鑽を続けた。また、他の公民館の事業に参加したり、作品展等を見ることで自ら学ぶ機会を作った。	B
利用者目線 のまなびの 館づくり	・館管理、貸館、不在表示 の適宜実施 ・利用者への挨拶励行な ど、接客改善	不在表示を欠かさず行い、館利用が滞らないように努めた。館内外の清掃に努め、玄関周りの花が絶えないようにした。来場者にはすすんで明るいあいさつをするように心がけた。	A
総括	・地域学習拠点として全体 総括 ・次年度に向けての改善点	全体的にはおおむね順調に進んでいる。 講座リストの活用や、地域課題や地域の人材の発掘を行っていきたい。	合計 17点 (20点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

○平成29年度事業実績

成美地区公民館

事業名		内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加人数等)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進	年6回実施のべ78名
	体育部長会	公民館の体育事業について協議	事業内容の把握と、業への参加と協力	年2回実施のべ28名
	水曜道くさクラブボランティア連絡会	水曜道くさ・ボランティアが集まり、学期ごとに反省会を行う。	ルールの確認と情報交換 運営の潤滑化	7/26 10名 12/13 11名
	分館長会	1月に新区長が集まり、公民館活動についての説明を行う。	公民館事業の周知と各種行事への参加協力	1/21 21名
	佐崎河川公園整備協議会	年間の活動報告と計画	各区長への作業協力依頼と年間作業計画等	4/6 15名 12/19 17名
	学校地域戦略会議	学校・公民館・文化センター・地域ボランティアが集まり連絡をとりあう。	地域と学校の連携	10回 100名
女性教室	からだにやさしい料理教室	ナチュラルフードコーディネーターを講師にした料理教室	食を通して健康な身体をつくる	6/25 10名
	テラリウム作り	手入れの簡単な、エアープランツを使ったテラリウム作りでグリーンライフを楽しむ。	参加者同士の交流と花のある暮らしづくり	9/19 16名
	切り絵教室	地元の講師に季節の切り絵を学ぶ。	参加者同士の交流と公民館祭の作品作り	1/20 5名 2/3 5名
	視察研修	鳥取市鹿野町へ行き、そば打ち体験と城下町の町並みをガイドしてもらう。	地域の文化や歴史を学ぶ。	12/3 14名
	ハーバリウム作り	安田地区公民館との共催で植物標本インテリアハーバリウム作りをする	趣味を通じて参加者の交流を深める。	3/18 25名
成人教室	消しゴムハンコで年賀状作り	消しゴムを彫ってハンコを作り、年賀状に押す。	手作りで心のこもった年賀状で新年のあいさつを届ける。	12/10 10名
	ミニ門松と正月リース作り	正月に飾る室内用のミニ門松と折り鶴のリースを作る	現代にあわせた伝統行事の伝承	12/23 15名
	チャレンジ登山	赤碕中学校区の4館共催で山楽会の協力を得て登山を行う	自然に親しみ、健康づくりと親睦を深める	4/29 26名 11/5 29名
	園芸教室	年間を通してシンビジウムの栽培管理と情報交換。視察研修	花作りの栽培意欲の向上と、生きがいづくり	4/20 8名 5/28 9名
支放課後	水曜道くさ・お習字クラブ	下校の早い水曜日に、公民館で習字を習う。宿題をしたりボランティアさんと一緒に遊んだりする	習字を通して、あいさつや礼儀なども学ぶ。他の学年と一緒に遊び交流を深める。	毎週水曜日 計32回実施のべ1,142名

船上キッズ	親子木工教室	わらべ館共催で木のおもちゃ、きつきを作る。	親子で協力してものづくりをする。	7/2 27名
	ナイトウォークラリー	以西地区公民館事業と協賛で行う。グループを作りポイントを通りながら以西地区を歩いて回る。	歩いて回ることで、地域の再発見と、チームで協力し合う心を養う。	7/22 17チーム62名
	夏休み見学ツアー	とっとり自然環境館の見学と児童文化センターでのプラネタリウム観賞。	夏休みを利用して色々な施設の見学や体験をする。	8/9 24名
体育行事	グラウンド・ゴルフ大会	各部落に参加呼びかけ、団体戦・個人戦をあわせて行う。小学生から高齢者まで幅広い参加がある	健康増進と地域住民の親睦を深める。	6/18 12チーム72名
	ソフトボール大会	盆の帰省客を交えて部落対抗で行う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	8/15グラウンドの状態が悪く中止
	町民運動会	保育園から高齢者まで広い年齢層が参加しやすいプログラムで実施	健康増進と地域住民の親睦を深める。	10/1 延競技参加人数 2, 200名
	なわとび大会	部落対抗で跳んだ数を競う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	2/11 12チーム 96名
	卓球大会	団体戦・個人戦(男・女・中高生・親子)で行う	健康増進と地域住民の親睦を深める。	団体戦9チーム 36名 個人戦 59名
催し・その他	第24回洋ラン展	園芸教室会員の育てたシンビジウムを展示する	ラン展開催による会員栽培意欲の向上と花作りの輪を広げる。	4/21.22 来場者276名
	男女共同参画講演会	ふなのえこども園と以西・成美・安田地区公民館の共催で講演会を行う。	絵本を通して、ジェンダーについて学ぶ	8/10 50名
	琴浦大山警察署見学会	新設された琴浦大山警察署のオープンの前に施設内を見学する。	警察署の見学により、交通安全や防犯について理解を深める。	5/13 25名
	公民館祭	公民館活動・地域住民・小学校・こども園・文化センターなどの作品展示	作品の発表の場を設ける	2/11 300人
	かくし芸大会	各部落が出場の他、地域団体やゲストも出演	練習を通して地域住民の親睦を深める	2/11 178人
	囲碁・将棋大会	地域住民が囲碁・将棋の腕を競い合う	参加者の親睦を深める	2/11 12名
	味噌作り	自家製、地元産の米や大豆を使い、グループで協力して味噌を手作りする。	自家製の米や大豆の利用と、無添加で安全な味噌作り。	11/22会議6名 12月～3月味噌作り 39名
展示	古民具収集	古民具の収集と展示 小学生の昔の暮らしの学習で利用	道具を通して昔の生活の様子を知る。	年間 3/19 28人
化環 活境 動美	佐崎河川公園整備協議会	地域住民、船上小学校、ふなのえこども園の協力を得て、年5回河川公園の清掃美化活動を行う	年間を通して清掃作業を行うことで環境美化を保つ	年5回実施 のべ参加人数 229名

自主活動推進	写真教室	それぞれが撮った写真を持ち寄り意見交換を行う。文化祭、公民館祭への作品出品	写真技術の向上と会員の交流	年3回 延べ12名
	俳句教室	句会を開き、季節の句を詠む。合同俳句展、文化祭、公民館祭への作品出品。	俳句を通じて四季を感じ感性を養う。	5回 延べ25名